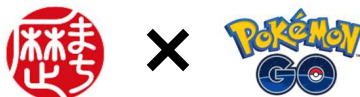


同時発表
国土交通省本省、大津市

令和5年7月31日
近畿地方整備局

地域の魅力・歴史的建造物を『Pokémon GO』で再発見！

～近畿で2例目！ 滋賀県大津市で取組み開始～



国土交通省は、新たな切り口で地域固有の歴史文化の再認識や親しむ機会を提供するため、『Pokémon GO』を運営するNianticと連携し、ポケストップによる歴史的建造物の紹介を、第4弾として滋賀県大津市をはじめ、福島県国見町、静岡県浜松市の3都市で開始しました。

取組を開始した歴史まち認定都市では、新たに登場したポケストップに「建造物の説明」や「歴史まちロゴマーク」が表示され、各都市の歴史まちづくりの取組や魅力を紹介する「歴史まち情報サイト」へアクセスできます。

また、近畿地方整備局管内の歴史まち認定都市では、歴史まちカードや歴史まち手帖も配布しております。

認定都市を巡って、まちの歴史・伝統・文化を見て・触れて・感じながら、旅の思い出に歴史まちカード等も是非集めてみてください。



歴史まちカード(大津市)

歴史まち手帖

【実装開始日】令和5年7月25日(火)

【歴史まちロゴマークのポケストップ設置箇所】

・大津市の歴史まちづくり計画 重点区域内 48箇所(詳細は別紙参照)



近江八景「堅田落雁」



旧岡本家住宅主屋



大津別院本堂

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先>

近畿地方整備局 建政部 計画管理課 課長 河野 秀斗 (内線6121)
建政部 計画管理課 課長補佐 上田 仁 (内線6123)
TEL: 06-6942-1141 (代表) 06-6942-1051 (直通)

※本事業の内容等については、別添の国土交通省都市局の記者発表資料に記載の問い合わせ先へお問い合わせください。

同時発表

東北地方整備局、中部地方整備局、近畿地方整備局
国見町、浜松市、大津市令和5年7月31日
都市局 公園緑地・景観課

地域の魅力・歴史的建造物を『Pokémon GO』で再発見！


～第4弾！福島県国見町、静岡県浜松市、滋賀県大津市～



国土交通省は、新たな切り口で地域固有の歴史文化の再認識や親しむ機会を提供するため、『Pokémon GO』を運営するNianticと連携し、ポケストップによる歴史的建造物の紹介などの取組を実施しております。本取組の第4弾を、福島県国見町、静岡県浜松市、滋賀県大津市にて開始しました。

取組を開始した歴史まち認定都市※1では、新たに登場したポケストップに「建造物の説明」や「歴史まちロゴマーク」※2が表示され、各都市の歴史まちづくりの取組や魅力を紹介する「歴史まち情報サイト」※3へアクセスできます。

本日の発表を含めて計10都市※4で実装を開始しており、次回は熊本県熊本市にて9月下旬に実装予定です。全国の歴史まち認定都市へ本取組を波及させ、歴史まちづくりを盛り上げて参ります。

- ※1 歴史まち認定都市とは、地域固有の風情や情緒を維持向上するために歴史まちづくりに取り組んでいる都市であり、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき、自治体が策定する歴史的風致維持向上計画（通称：歴史まちづくり計画）について国から認定を受けた都市です。
- ※2 歴史まち認定都市の広報、理解促進を目的に使用するロゴマーク「」です。
- ※3 <http://www.nilim.go.jp/lab/ddg/rekimachidb/index.html> 右のQRコードからもアクセスできます。
- ※4 実績一覧表



第1弾 (R3.11)	神奈川県小田原市
第2弾 (R5.4)	静岡県三島市、和歌山県広川町、広島県尾道市、愛媛県内子町、福岡県太宰府市
第3弾 (R5.5)	秋田県横手市
第4弾 (R5.7)	福島県国見町、静岡県浜松市、滋賀県大津市 ※今回

【実装開始日】令和5年7月25日（火）

【歴史まちロゴマークのポケストップ設置箇所】

- ・3都市の歴史まちづくり計画 重点区域内（詳細は別紙参照）
- ・計111箇所（国見町13、浜松市50、大津市48）
- ・各都市の代表的な歴史的建造物を以下のとおり紹介します。



【国見町】奥山家住宅



【浜松市】信康廟遥拝所



【大津市】大津別院本堂

【問い合わせ先】

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課 景観・歴史文化環境整備室 森井、植田
TEL：03-5253-8111（内線 32983、32986）／03-5253-8954（直通）

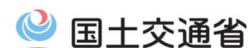
【歴史まちづくり・歴まち認定都市について】

全国各地には、城や神社仏閣とその周辺の町家や武家屋敷等から成る市街地と、祭礼行事、民俗芸能、昔ながらの生業等の人々の伝統的な営みや活動とが一体となって、地域の個性とも言える歴史的な情緒や風情を醸し出すまちが多くあります。

国土交通省・文化庁・農林水産省では、歴史まちづくり法に基づき、これらを「歴史的風致」として地域固有の資産であると捉え、ハード・ソフト両面の取組による維持向上を図り、地域の活性化や歴史・伝統文化の保存・継承を支援しています。

令和5年7月末現在、全国で91都市が歴史的風致維持向上計画の認定を受けています。各都市の歴史まちづくり計画（概要版）については、以下の国土交通省ホームページにて紹介しています。

https://www.mlit.go.jp/toshi/rekimachi/toshi_history_tk_000010.html



歴史的風致維持向上計画認定状況（R5年7月末時点）

【】は都市数	都道府県	市町村名	認定日	【】は都市数	都道府県	市町村名	認定日	【】は都市数	都道府県	市町村名	認定日				
東北 【13】	1	青森県	弘前市*	H22.2.4	北陸 【5】	32	新潟県	村上市	H28.10.3	近畿 【13】	63	和歌山県	湯浅町	H28.3.28	
	2	岩手県	盛岡市	H30.11.13		33	新潟県	佐渡市	R2.3.24		64		和歌山県	広川町	H28.10.3
	3	宮城県	多賀城市*	H23.12.6		34	富山県	高岡市*	H23.6.8		65		和歌山県	和歌山市	H30.3.26
	4	秋田県	大館市	H29.3.17		35	石川県	金沢市*	H21.1.19		66		和歌山県	高野町	H31.1.24
	5	秋田県	横手市	H30.7.11		36	石川県	加賀市	R3.3.23	67	島根県	松江市*	H23.2.23		
	6	山形県	鶴岡市*	H25.11.22	37	岐阜県	高山市*	H21.1.19	68	島根県	津和野町*	H25.4.11			
	7		新庄市	R5.2.15	38		高山市*	H21.1.19	69	岡山県	津山市*	H21.7.22			
	8	白河市*	H23.2.23	39	美濃市*		H24.3.5	70	岡山県	高梁市*	H22.11.22				
	9	福島県	国見町	H27.2.23	40		岐阜市*	H25.4.11	71	広島県	尾道市*	H24.6.6			
	10		磐梯町	H28.1.25	41	郡上市	H26.2.14	72	広島県	竹原市■	H24.6.6				
	11		桑折町	H28.3.28	42	三島市	H28.10.3	73	山口県	萩市*	H21.1.19				
	12		棚倉町	R2.6.24	43	掛川市	H30.1.23	74	徳島県	三好市*	H22.11.22				
	13		会津若松市	R5.6.19	44	静岡国市	H30.7.11	75	愛媛県	大洲市*	H24.3.5				
関東 【18】	14	茨城県	桜川市*	H21.3.11	45	静岡県	下田市	H30.11.13	76	愛媛県	内子町	R1.6.12			
	15		水戸市▲	H22.2.4	40		浜松市	R4.3.20	77		高知県	佐川町*	H21.3.11		
	16	栃木県	下野市	H31.3.26	47	愛知県	犬山市*	H21.3.11	78	福岡県	太宰府市*	H22.11.22			
	17		栃木市	H31.3.26	48		名古屋市	H26.2.14	79		福岡県	添田町	H26.6.23		
	18	群馬県	甘楽町*	H22.3.30	49		岡崎市	H28.5.19	80		佐賀県	宗像市	H30.3.26		
	19	群馬県	桐生市	H30.1.23	50		津島市	R2.3.24	81		佐賀県	佐賀市*	H24.3.5		
	20	埼玉県	前橋市	R4.12.20	51	三重県	亀山市*	H21.1.19	82	佐賀県	基山町	H31.1.24			
	21		川越市*	H23.6.8	52		明和町*	H24.6.6	83		長崎県	鹿島市	H31.3.26		
	22		千葉県	香取市	H31.3.26	53	伊賀市	H28.5.19	84	長崎県	長崎市	R2.3.24			
	23	神奈川県	小田原市*	H23.6.8	54	滋賀県	彦根市*	H21.1.19	85	熊本県	山鹿市*	H21.3.11			
	24		鎌倉市	H28.1.25	55		長浜市*	H22.2.4	86		熊本県	湯前町	H29.3.17		
	25	山梨県	甲州市	H29.3.17	56	大津市	R3.3.23	87	熊本県		熊本市	R2.6.24			
	26	長野県	下諏訪町■	H21.3.11	57	京都府	京都市*	H21.11.19	88	大分県	竹田市	H26.6.23			
	27		松本市*	H23.6.8	58		宇治市*	H24.3.5	89		大分県	大分市	R1.6.12		
28	東御市■		H24.6.6	59	向日市		H27.2.23	90	宮崎県		杵築市	R3.3.23			
29	長野市		H25.4.11	60	堺市*	H25.11.22	91	宮崎県	日南市	H25.11.22					
30	千曲市		H28.5.19	61	奈良県	斑鳩町	H26.2.14								
31	上田市	R5.2.15	62	奈良市	H27.2.23										

合計 91都市(39府県)

* : 2期計画認定済 36都市

■ : 計画完了 3都市

【『Pokémon GO』について】

Niantic, Inc. と株式会社ポケモンが共同開発・提供している『Pokémon GO』は世界で10億回以上ダウンロードされている、GPS機能を活用し現実世界そのものを舞台としてプレイするスマートフォン向けアプリです。たくさんの謎を秘めた不思議な生き物「ポケットモンスター」略して「ポケモン」を捕まえたり、バトルさせたりすることができます。また、トレーナー同士でポケモンやギフトを交換したり、一緒にバトルに挑むこともできます。

©2023 Niantic, Inc. ©2023 Pokémon. © 1995-2023 Nintendo/Creatures Inc./GAME FREAK inc.

ポケモン・Pokémonは任天堂・クリーチャーズ・ゲームフリークの登録商標です。



【ポケストップについて】

ポケットモンスターを捕まえるためのモンスターボールなど、様々な道具が手に入ります。その場所の名前、写真、説明が表示され、名所旧跡や有名な建物など世界中にあります。

【大津市の歴史まちづくりの概要】

大津市は、令和3年3月に歴史的風致維持向上計画の認定を受けました。

大津市は、古くは667年に天智天皇が近江大津宮に都を遷した歴史を持ち、その後も門前町、城下町、港町、宿場町など様々な顔を持ちながら、歴史上重要な地域として発展を遂げてきました。

また、世界文化遺産の「比叡山延暦寺」や世界記憶遺産「智証大師円珍関係文書典籍」を所蔵する「三井寺（園城寺）」、紫式部ゆかりの「石山寺」、東海道の宿場町としての歴史など、各時代を代表する多くの歴史・文化遺産が今に引き継がれています。

こうした地域固有の歴史、文化を大切に守り、育て、活用したまちづくりを推進するため、「堅田」、「坂本」、「大津百町」の3つの重点区域を定め、市民、事業者、行政が協働で次の世代へ継承できるまち・大津の創造に取り組んでいます。



大津祭の曳山

【ポケストップの紹介】

○エリア



○主な対象建造物等



《堅田重点区域》

近江八景「堅田落雁」

浮御堂は平安時代の創建と伝え、「近江八景」の一つ「堅田落雁」の舞台として知られる。今の建物は昭和12年(1937)の再建。



《坂本重点区域》

旧岡本家住宅主屋

江戸時代に山門公人として延暦寺に仕えた旧岡本家の住宅。坂本の歴史文化の情報発信の拠点で、景観形成建造物に指定されている。



《大津百町重点区域》

大津別院本堂

慶長6年(1601)創建。慶安2年(1649)再建の本堂は重要文化財で、参詣者用の外陣をひろくとる真宗本堂の特色を示す。

近畿管内で既に取り組み開始している広川町の情報

【広川町の歴史まちづくりの概要】

広川町は、和歌山県の中央に位置し、雄大な山々を源流に広川が流れ、複雑な海岸線には遠浅の海浜も点在するなど、豊かな自然に囲まれた温暖な地域です。江戸時代、江戸と大坂を結ぶ廻船や熊野古道の要所としてまちが形成され、産業の発展とともに様々な文化遺産が伝えられています。広川町の歴史的魅力的象徴ともいべき「稲むらの火」の物語は「世界津波の日 (World Tsunami Awareness Day)」として世界に認められるなど、先人が築き守り続けてきたさまざまな建造物と営みが広川町の特徴的な歴史的風致を形成しています。



ひろむらていぼう
史跡広村堤防

【ポケストップの紹介】

○エリア



ポケストップを確認できるおおまかな場所

- ・ 広村堤防周辺
- ・ 稲むらの火の館周辺
(濱口家住宅、旧浦清兵衛商店、旧戸田家住宅)
- ・ 濱口梧陵銅像

○主な対象建造物等



稲むらの火の館



濱口家住宅



うらせいへい
旧浦清兵衛商店



旧戸田家住宅

濱口梧陵とともに広村堤防築堤を支えた濱口吉右衛門家の邸宅。濱口家は東濱口家と通称し、江戸日本橋において問屋を生業とした商家である。木造三階建の御風楼が特徴的で、上階の座敷からは広村堤防と海が眺望できる。国の重要文化財。

(内部は毎年行われる一般公開の日に見学できる。)

浦家がかつて営んでいた酒蔵の店舗棟で、現在はコワーキング施設として活用されている。外壁の黒漆喰塗や二階の大きな格子窓が特徴。歴史的風致の色濃い広地区の町並みの一角を形作っており、令和5年国の登録有形文化財として登録。

江戸時代から「網屋」として製網業を営んだ戸田家の旧邸宅。五島列島への進出では、網元として重要な役割を果たすなど、広における旧家の一つである。広地区の伝統的な町並みを代表する建造物で、国の登録有形文化財。